

“フォアグラは、脂肪肝に苦しむ鳥の病的な肝臓である。”

欧州委員会 科学レポート（1998年12月16日付）

Foie Gras

太った肝臓

金属管とフォアグラの関係

フォアグラは、アヒルたちに20~30cmの金属管を喉に突き刺し、大量の餌を無理やり流し込むことで、肝臓を10倍に肥大化させて作られます。重篤に病気の肝臓です。アヒルたちは呼吸困難、下痢、消化器官の致命的な損傷を負い、もがき苦しむのです。口ばしは麻酔なしで一部を切断されます。金属床の小さなケージに閉じ込められ、足を怪我し、動くことも羽を広げることでもできません。このような虐待をしてまで食べるべきでしょうか？



食品生産にも倫理規定を

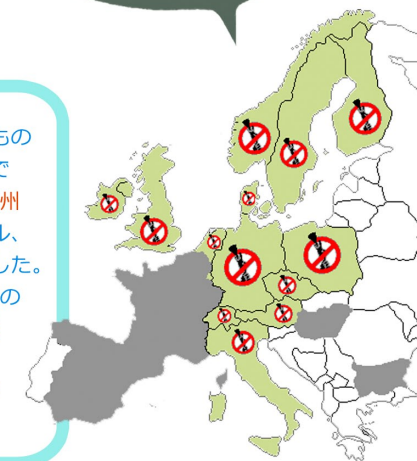
www.stopgavage.com

“いかなる動物にも、不必要な痛みや傷を与えるような給餌は行われるべきではない。”

欧州委員会 動物福祉・健康部門（1998年7月20日付、理事会命令98/58/EC）

もう、フォアグラなんかやめよう

En partenariat avec
STOP GAVAGE
www.stopgavage.com



私たちができること

この残酷な食文化、もうやめにしたいですよね？
欧州委員会の勧告などでは、家畜に対しても虐待を許さない姿勢が明確ですが、**産業界の圧力や伝統・慣習を覆すのは簡単なことではありません。**産業界に「食品生産の倫理」を求めるためには、私たち一人一人の行動が必要です。消費者としての私たちが、フォアグラを「**買わない**」・「**食べない**」・「**良しとしない**」、という意味表示をすることで、日本への輸出が減り、生産国で地獄の苦しみを受けるアヒルたちが減るのです。世界的に広がる「**フォアグラ廃止キャンペーン**」に、私たちも参加しましょう！

▶（日本語版）<http://www.stopgavage.com/ja/>

政府も王室もハリウッドも動く

フォアグラは、欧州連合「**畜産動物の保護の原則**」に反するものです。フォアグラ生産に用いられる「**強制給餌**」が非人道的で残酷という理由で、1999年のポーランド以降、既に**殆どの欧州連合加盟国で禁止**となりました。世界へと広がり、イスラエル、アルゼンチン、米カリフォルニア州などが禁止令を制定しました。**オランダ王室は、2009年に宮廷晩餐会でフォアグラを用いるのをやめると決定。**伝統のイギリス議会でも、2012年に**貴族院**に付属の高級レストランからフォアグラを廃止。セレブ界でも、映画タイタニックに主演の**ケイト・ウィンスレット**さんがフォアグラ廃止を訴えるなど、この流れは加速しています。



美食の国ベルギーにはシェフが本物と間違ふほど美味しい植物性の疑似フォアグラ Faux Gras de Gaiaもあります！

“フォアグラの給餌方法とその添加物は、ストレス、傷、病気を鴨およびガチョウに引き起こし、物理的、生理学的にも彼らの健康と福祉に非常に有害な状態をもたらす事から、決して許される事ではない。”

欧州連合 フォアグラの生産における鴨とガチョウの使用についての勧告（1999年7月22日付）



なぜ病気の肝臓？
アヒルを助けて！

Contact : HelpOurBelovedAnimals@gmail.com



ご賛同頂ける方は今すぐ署名を！
<http://www.stopgavage.com/ja/manifesto>

